

令和 7 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司

記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点等の一部が死角になり、安全面に難あり、及び、不審者/犯罪者の逃走経路となるのでは等の指摘があり、継続を要望。
事業実施後の状況	設置箇所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による長期休暇（夏休み/大型連休）等の不在期間中の見守りが可能となる為、安心感あり。
事業の効果	設置箇所が増えたことによる各犯罪抑止効果ありと判断します。…継続
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減を図る。 又、家庭用防犯装置費用支援/援助策を提案し、各家庭への防犯装置設置希望者を募り、自らの防犯意識向上を促進させ、地域一丸となった防犯対策を実施する。 又、他地域（行政）が取り組んでいるドローン等（ドローンに替わる代替品…模索中）を活用した防災/防犯体制及び地区放送（全戸への緊急避難速報/警報）他携帯を活用した見守りも再度提案/検討し維持管理（費用/資格免許/教育含め）の促進。…継続

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田 正司

記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	納涼大会は地域にとって大切な意義のある事業で地域の人々の重要なコミュニケーションの場である。
事業実施後の状況	年々、電気設備及び活動運営が高騰し支援することにより多少の苦労は軽減されている。
事業の効果	電気設備等の支援をすることにより、ますます大勢の人々が集まり楽しめることが出来ていると思う。
今後の課題	年々、種々雑多な物が値上がりし、来年度はもう少し援助を増やすべきと思う。

以上

様式 5 号(第 7 号関係)

令和 7 年 4 月 1 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山 田 正 司

記

事業名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	呉羽の里地域内において、記念碑通りにおいては、交通量が多く歩行者の安全を確保する必要があった。
事業実施後の状況	歩行者が安心して通行できるように車のスピードが緩和させる効果について、今後とも確認してゆく必要がある。
事業の効果	シート設置後は、車からの眺めは、何かがあると確認でき、アクセルから足を上げる感じになりスピードが出ないと感じられる。
今後の問題点	現在 1 箇所施工したが、1 箇所では瞬時に通過してしまい何があったかわからないので、複数箇所の施工を実施し効果を上げる必要がある。

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田 正司

記

事業の名称	コミュニティ倉庫設置事業
事業実施前の状況	不要になったパイプ椅子等を屋外での地域行事に使用のための保管場所に困っていた。
事業実施後の状況	会館や他の倉庫に預かってもらってる備品を1ヶ所に集めることができた。
事業の効果	どこに何が収納しているのかがわかり、手伝う人々が作業しやすくなった。
今後の課題	学校や他の団体に収納させてもらっている備品は、できれば1ヶ所に集めたいが今の倉庫では手狭である。

以上

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田 正司

記

事業の名称	石橋小学校吹奏楽部支援事業
事業実施前の状況	石橋小学校吹奏楽部が、老朽化した楽器や借りてきた楽器で練習をしていた。前年全国大会に出場したことにより入部者が増え、楽器が足らなくなっていた。
事業実施後の状況	輝きのある楽器で演奏をすると部員達の練習に向かう姿勢やる気があふれ出ていた。
事業の効果	不足していた楽器を買い足したことにより、全国大会では素晴らしい金賞という結果を残してくれた。
今後の課題	全国大会に出場したことにより4年生の部員がたくさん入部し、ますます楽器の数が足らなくなっている。来年度も応援する可能性が出てきた。

以上

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田 正司



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	校区の48年続いている事業で、大勢の地域の子供達や人々が楽しみにしており、この事業の大切さを痛感している。
事業実施後の状況	この運動会を実施するところにより地域の人々がお互いにコミュニケーションを図り、近隣の人々と言葉を交わし顔見知りになる。
事業の効果	地域の人々が顔見知りになり言葉を交わすことで、よりお互いにコミュニケーションを図り地域活性の一助となる。
今後の課題	これからもますます皆が楽しみ喜ばれる大会とするため、この会の充実を図るために援助を必要とする。

以上

年 月 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田正司



記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	コミュニティ各部会が行う事業や地域住民の関心のある課題を周知することで、コミュニティの存在と役割を知ってもらう事業。
事業実施後の状況	年間2回のコミュニティ紙の発行事業で、旭丘、井口堂及び石橋における石橋地域コミュニティの活動内容と地域性を広く伝達できた。
事業の効果	地域ボランティアの活動、小中学校と地域のつながり、石橋コミュニティ推進協議会の活動、等を広く周知することが出来た。
今後の課題等	市の施策に沿った事業の状況、多世代交流拠点建設の進捗状況、共同利用施設、等の記事を扱いたい。

事業の評価書

池田市長様

協議会名

石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名

山田 正 司



記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業
事業実施前の状況	地区住民の中には、支援を要していてもなかなか行動にできず、なにか大きな災害時も現況確認がし辛い状況であった
事業実施後の状況	回数を重ねるたびに、要支援者とも顔なじみになり、近況を伝えてもらえるようになってきた
事業の効果	現況調査の継続により、要支援者への見守りと不安や疑問等に委員ができる範囲で対応をしている
今後の問題点	訪問時に、要支援者から、災害時の避難について要望や質問を受けるが、各委員がどこまで要支援者の希望を聞くかと負担に思うケースがある。この事業では、委員はあくまで要支援者の現状を計画書に記入し行政へ提出し、災害時に要支援者の安否が確認できるようにする手助けであることを、委員が理解し、重荷に感じないことを検討していく

令和 7 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司

記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備等）
事業実施前の状況	恵まれた環境下により、緊急時に誰が何をどうするべきなのか知識及び経験が不足しているため、緊急時の対応が取れない(知らない)、又、有事の場合の避難及び避難所での対応方法(わからない)等についての知識が無い。
事業実施後の状況	緊急時の対応（訓練ではあるが）体験及び各種(新)知識の向上が図れた。 知らないが知った、わからないがわかったへ変化した。 又、今回は起震車による地震体験も出来たので、良い経験が出来た。 ・総勢約350名の参加 ・炊出し訓練、試食実施 ・釜石の奇跡ビデオ鑑賞、起震車による地震体験、他各種訓練実施
事業の効果	地域住民、学校、施設他及び行政の協力の基、連携を取りながら訓練が出来た。 参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待する。 同じことの繰り返しではあるが、継続は力なりを念頭に継続実施は必須。
今後の課題等	各種の災害時（発生時間）に即対応が出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備に頼らず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し等が可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法(サビバル)等も織り込んでの実践としたい。 次回は実際に体育館での素泊まりも実施計画に追加を希望する。

様式第 4 号

令和 7 年 3 月 10 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田正司

記

以上

事業の名称	地域会館備品整備事業
事業実施前の状況	印刷機設置以前は、各ボランティア団体は各自、コピー等でコピー。印刷し、時間的にも費用もかなりの負担であった。
事業実施後の状況	設置以後は各団体からレジキウシ等、印刷する事が出来非常に便利になり、余裕が出来た。 会館備品にしても必要な物を購入する事が可能になり、便利になった。
事業の効果	印刷する費用、時間も軽減出来、多いたった。 特に、多量のレジキウシ等、印刷の場合、コピー等では他の人の迷惑になり、それか「な」なり仕事かしたかった。
今後の課題等	井の堂北会館の二階ロビーに設置しているが、音がひびいたり、場所がせま作業かしている。 他の部屋で会議等をしている場合も多々有迷惑を叩いているので、設置する部屋を作りたい。

令和 7 年 3 月 1 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山 田 正 司

記

事業名称	地域活動支援事業
事業実施前の状況	石橋校区納涼大会、住民運動会、三世代交流事業の準備、後片付けに個人所有の軽トラックを借りて使用していた
事業実施後の状況	レンタカーを使用して準備、後片付けを行った。
事業の効果	レンタカーを使用することで、使用する時間が自由になり、万一事故が起こった際も保険が必ず使えるので安心
今後の問題点	今年度も個人所有の車を、所有者自身の運転により使用している車もあるが、それがなくなると今後金額が増えると予想される。

令和 7 年 3 月 2 / 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司



記

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	一般のゴミとして捨てられていた、キャップ（ペットボトル）であった。
事業実施後の状況	地域内設置の回収ボックスに入れる 日常風景が見られる。
事業の効果	集めたキャップが、道、公園のプランターになってもどって来ていることに気付いている人が増えていると感じる。
今後の問題点	回収活動に加わってくださる 地域住民の協力を呼びかける。交流部会以外の方への協力参加をどのようにしていくかということと言合していきたい。

様式第5号（第7条関係）

令和 7 年 4 月 20 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山田 正司

記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	道交法改正となったものの、いまだに、ながら（スマホ操作他）運転が見受けられ、いまだに守られていない。 一旦停止無視/スピードの出し過ぎ/無灯火/等も含め、注意喚起及び取締りが必要。 また、ヘルメットの着用も継続。
事業実施後の状況	本年度もスケジュール他、段取り/調整出来ず、自転車安全運転講習会の開催は中止。 道交法改正となり、改正内容をわかり易く集約したチラシを作成/掲示し注意喚起とした。
事業の効果	幾分かはながら（スマホ操作他）運転が減少した気はするが、依然目立つ。 各要所要所に立ち、立哨にて注意喚起が必要と感じた…他の違反行為も同様。
今後の課題等	課題はルールの周知徹底。 癖/習慣/軽視し過ぎ等、自転車も車両（車）であることを認識し、軽く考えず、ルールを守るべく、立哨/チラシ等にて現場にて注意する必要がある。 事故が起きる前に/起こす前に。

令和 7 年 3 月 1 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 山 田 正 司 

記

事業名称	地域美化整備事業
事業実施前の状況	継続して地域の街路や公園に花をうえ、美しい街づくりを行っている。
事業実施後の状況	プランターに花を植えていただくための花を配布し、地域の皆さんに心安らぐ空間を作った。
事業の効果	地域の皆さんに心安らぐ場所づくりになった。 地域の皆さんの環境に対するモラル向上につながった。
今後の問題点	植栽した花を長期にわたって維持することが難しいので、花を選定するときに、注意する必要がある。また、植栽後の花の管理を怠らないことが必要である。

令和 7 年 1 月 10 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 山田 正司

記

事業の名称	三世代交流事業
事業実施前の状況	コロナ発生後、縮小して開催していたこの会もいろんな行事が中止となるなか、子供たちも大人たちも心躍るような楽しみがなくなり近隣や地域の人々との繋がりが薄くなっていた。
事業実施後の状況	今年度も子供会と地域コミュニティ地域交流部が中心となり地域福祉、民生、エイフ、スポーツ振興会等が協働して石小校庭にて模擬店やゲームコーナー等で楽しんだ。
事業の効果	石小吹奏楽部、石中吹奏楽部等のアトラクションを楽しみ普段接することのない人達が共に一つの事業を成し得る為、協力し合いながら汗を流し最後には子供たちの喜びや歓喜を聞き達成感を得て交流することの大切さを知った。
今後の課題	毎年9月に開催していたが、今年は11月に開催せざるを得なくなり日没が早く夕方ではなく昼間に開催するところを考える必要がある。

以上